

Intellectual Properties Management

- a project for system based knowledge-management in international plant engineering

知的資産管理

- 国際的プラント・エンジニアリングにおける、ナレッジ経営によるシステム設計プロジェクト

Walter Abel, *STRATCON Management Consulting, Austria*

マネジメントコンサルティングに属する氏が手がけた、Energy Plant Company における知識共有のケーススタディ発表。

プロジェクトの目標は、国際的な plantengineering group が地域や組織、プロジェクトといった境界を越え、そのノウハウを広く共有すること (= 企業間イントラネットの実現)。

問題点として、ナレッジ共有のプロジェクトでは、知識を共有する事が前提だが、個々のナレッジ観は異なるので不満が生じる。また、ある企業のノウハウを異なるシステムや設備に広げることは困難だということがあげられた。

発表者は知識（特に失敗事例）の共有は、同じタスクに対しての重複したエンジニアリングの回避、失敗やエラーの再発防止、及びプロジェクトマネジメントやクレームマネジメントと同様に特にエンジニアリングにおいての手法の調和化、に効果があると協調。

知識共有にはトップ・ダウン・アプローチ、ボトムアップアプローチ、ミドル・アップ・ダウン・アプローチという三種類のモデルがあるといい、各々に pros and cons があるがミドル・アップ・ダウン・アプローチ を推奨

まだまだ混乱した領域ではあるが、少しずつ高レベルになっているとのこと。

爪丸登紀子

tokiko_tsumemaru@sliim.co.jp